2024　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児援助論Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	教室・実習室他
担 当 教 員	日下部　麻美	実務経験とその関連資格	看護師として小児科を有する病棟で勤務していた。			

《授業科目における学習内容》

子どもを発達していく存在としてとらえ、子どもが家族・社会の中で健やかに成長・発達を遂げる存在であると理解することが出来る。その上で子どもと家族の健康を支えるための小児看護の役割について学ぶ。
小児看護を実践するうえで基本となる看護技術について知識・技術を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

定期試験　60%、 グループ発表　20%(グループ10%、個人10%)、提出物　20%(個人)
※詳細は第1回授業で提示します。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院(臨床総論第1・4章)
参考書:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院

《授業外における学習方法》

次回の予習プリントがある場合は、授業の最後に次回の予習プリントを配布しますので、教科書を参考にして空欄を埋めてから授業に臨んでください。
グループ発表の準備は各グループで協力して取り組み、個人ワークは計画的に取り組みましょう。

《履修に当たっての留意点》

小児看護技術を学ぶ科目も多いです。演習では事例をもとにしたグループ学習と演習を行います。事前課題をしっかり行い演習に臨みましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	学童期の特徴について述べることができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第6章を読む(30分) 事後学習:授業の復習、課題をまとめる(30～60分)
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長発達と看護:学童期		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	思春期・青年期の特徴について述べることができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第6章を読む(30分) 事後学習:授業の復習、課題をまとめる(30～60分)
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長発達と看護:思春期・青年期		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児看護の特徴と理念について述べることができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:演習項目の手順を確認する(30分) 事後学習:授業の復習、課題をまとめる(30～60分)
		各コマにおける授業予定	小児看護の特徴と理念① 小児と家族の諸統計、小児看護の変遷 小児看護における倫理・課題		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	家族の特徴とアセスメントについて述べることができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:演習項目の手順を確認する(30分) 事後学習:授業の復習、課題をまとめる(30～60分)
		各コマにおける授業予定	家族の特徴とアセスメント		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもと家族を取り巻く社会について述べることができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:臨床総論第3章を読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもと家族を取り巻く社会		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	病気・障害を持つ子どもと家族の看護について述べることができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習：臨床総論第3章を読む（30分） 事後学習：授業の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	病気・障害を持つ子どもと家族の看護		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児看護に必要なコミュニケーション・プレパレーションの意義・概念について述べることができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習：臨床総論第3章を読む（30分） 事後学習：授業の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	小児看護に必要な看護技術①：コミュニケーション 小児看護に必要な看護技術②：プレパレーション		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達段階を考慮したプレパレーションの作成、発表準備を行うことができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習：臨床総論第3章を読む（30分） 事後学習：授業の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	プレパレーション作成・発表準備（グループ）		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達段階を考慮したプレパレーションの作成、発表準備を行うことができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習：臨床総論第5章を読む（30分） 事後学習：授業の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	プレパレーション作成・発表準備（グループ）		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達段階を考慮したプレパレーションの発表ができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習：臨床総論第5章を読む（30分） 事後学習：授業の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	プレパレーション発表（グループ） 小児看護に必要な看護技術③：バイタルサイン測定、身体計測、身体的アセスメント		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達段階を考慮したアセスメントが実施できる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習：臨床総論第7・8章を読む（30分） 事後学習：授業の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	新生児期の子どもを対象とした演習：バイタルサイン測定、身体計測、身体的アセスメント		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発達段階を考慮したアセスメントが実施できる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習：各論第1・2章を読む（30分） 事後学習：授業の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	幼児期・学童期の子どもを対象とした演習：イタルサイン測定、身体計測、身体的アセスメント		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発達段階を考慮したアセスメントが実施できる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習：各論第2章を読む（30分） 事後学習：授業の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	新生児・幼児・学童期の子どもの観察・アセスメント		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	成長発達段階の理解について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習：各論第3・4章を読む（30分） 事後学習：授業の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	成長発達段階の理解①（健康な子ども）		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	成長発達段階の理解について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習：各論第5章を読む（30分） 事後学習：授業の復習（30分）
		各コマにおける授業予定	成長発達段階の理解②（健康な子ども）		